

2018年度
スローガンあす
南長野の未来を照らし 全力で楽しむ青年たれ

2018年度 外報紙



南長野フェスティバル

MINAMINAGANO FESTIVAL 2018 ～愛×絆～

11月23日(金)～12月25日(火) 南長野運動公園 担当 ■ 地域創生委員会 ■



「南長野フェスティバル2018～愛×絆～」を開催致しました。

今年で二回目のイルミネーション事業は愛×絆をテーマに、家族や恋人、仲間達と来場する事で自然とお互い笑顔になれるようなイルミネーションを目指しました。新たな作品として、幸せの鐘、ラブチェアを地元の高校生、短大生、大学生のボランティアの方と、どうすればインスタ映えするかを考えながら飾り付けを行いました。そして一月二三日の点灯式にて一斉にイルミネーションを点灯しました。

今年度は新たな試みとして、南長野フェスティバル実行委員会(長野商工会議所篠ノ井支部、長野商工会議所青年部、篠ノ井地区住民自治協議会、篠ノ井商店会連合会、株式会社パルセイロ・アスレチッククラブ、シンコースポーツ株式会社)を設立致しました。三月に説明会を行い、四月から月一回の委員会を開催して参りました。他団体の方々と委員会を行う事で今までになかった発想など多角的な視点で考えることで今後の南長野フェスティバルの新たな道筋が出来ました。



12月9日(日) 南長野運動公園

**イルミネーション
中間イベント**

担当 ■ 地域創生委員会 ■

一二月九日(日)の一時よりオリピックスタジアム前広場にて南長野フェスティバル中間イベントを開催いたしました。

今年度は実行委員会を設立しまして、長野商工会議所青年部様の協力のもと、クラブフェア、株式会社パルセイロ・アスレチッククラブ主催でパルセイロ選手プチサッカー講座&サイン会を行いました。大変冷え込んだ日ではありましたが、三〇〇名以上の市民の皆様にお集まりいただき、盛大に開催する事ができました。



委員長所感

青木 栄樹

昨年、社会開発系の委員長を仰せつかった時から、イルミネーション事業をどういった展開にしていこうかと考えていました。昨年で一〇年を迎え、地域の人々に根付き一定の評価を頂く中でも、継続していく上で多くの課題を抱えていたのも事実でした。そこで今後の継続発展の為に他団体との協力が必要不可欠ではないかと考え、実行委員会を設立致しました。委員会中は、色んな意見等を聞けて、改めてイルミネーション事業の素晴らしさ、また地域に根付いていることを感じる事が出来ました。

点灯期間中、幸せの鐘を楽しむように囁らす人々の姿を見て本当にうれしく思います。またラブチェアに老夫婦、若いカップルが座り話している姿も非常に素敵な光景でした。今年度のテーマ通り「愛×絆」を感じることが出来ました。

中間イベントでは、実行委員会として共に活動してきた方々と一緒に開催することが出来て非常にうれしく思います。初めての事で分からない中でも、皆様の協力のもと盛大に開催することが出来ました。本当にありがとうございました。

最後になりますが、今事業にご協力頂いた全ての方々に御礼を申し上げ、委員長所感とさせていただきます。

9月例会 9月1日(土)～3日(月) ホテル国際21

姉妹締結35周年記念式典 歓迎レセプション

企画担当 ■ 国際交流委員会

本年、姉妹締結から三五周年という節目の年を迎える中、九月一日(土)～三日(月)の日程でコ ハクチョン會長をはじめとする八名の西大邱メンバーに訪日して頂きました。



初日の公式LOM訪問では移転を迎える沢山の思い出が詰まったルームを訪れ先輩方が残されていた多くの品々を見学されていました。また、二日目の日中の観光では長野県特有の自然環境に触れていただきたと思い、浅間山のふもとである軽井沢方面への観光を行いました。あいにく天候には恵まれませんでした。白糸の滝、鬼押し出し園を見て回り、帰りにはウィンズワインに立ち寄り、ワイン工場の見学・試飲を行いました。

記念式典・歓迎レセプションでは、姉妹締結時の理事長、久保田俊一先輩や長野国際親善クラブ会長、倉島卓人様をお招きし、盛大にお祝いをしました。アトラクションでは、日本の伝統を伝えたいこの思いから、箏と尺八の先生をお招きして、実際に演奏を体験して頂きました。

二泊三日のスケジュールを通し、双方の友好を深めると共に、先輩方が残されていたモノの大切さを改めて感じさせていただきました。

委員長所感

渡辺 利寛

姉妹締結三五年目という節目の年に委員長が出来ましたことを感謝申し上げます。三日間という長丁場ではありましたが、大きな問題もなく無事に事業をやり遂げられました。外国の方を迎えおもてなしをする難しさを痛感する事業でもありました。

佐藤副理事長、平山副委員長、国際交流委員会のメンバーには準備から設営まで大変ご苦労をおかけしたと思います。改めて感謝を申し上げます。

そして四〇周年に向けて先輩たちが残されたこの交流が続いて行くことを祈念して委員長所感とさせていただきます。



10月例会

10月13日(土) 千曲市八幡 開眼寺

柴田文啓住職から学ぶ 経営哲学と座禅

企画担当 ■ 掘げよう会員の輪委員会

一〇月一三日(土)千曲市八幡の開眼寺にて、一〇月例会「柴田文啓住職から学ぶ経営哲学と座禅」を開催致しました。激化する競合他社との競争や市場環境や社内環境の変化への対応等、現代は以前にも増してストレスフルで日々めまぐるしく情勢が変わっていく社会であるといえます。そのような状況に対応するための一つの手段として日本の著名人であれば、松下幸之助や井深大が日常生活に座禅を取り入れていました。近年では、アップルやグーグルといった欧米の大企業の研修に座禅や瞑想

が取り入れられています。今後ますます混迷を極めていく時代において経営者として、また会社員として会社や自身をどこへ向かわせようとしているのか、どのようにしたいのか、座禅を通じて一度自己を見つめ直し自分と向き合うといったことや己の哲学をもつといったことはメンバーにとって有意義な経験になると考え、今事業を実施しました。

委員長所感

山岸 陸弘

今例会ではゼネラル・エレクトロニクス(GE)社との合併会社である横河メディカルシステム株式会社常務取締役、横河アメリカ社長等を歴任され、二〇世紀最高の経営者としても名高いジャック・ウェルチ氏のビジネスパートナーとして長きにわたりアメリカで活躍された柴田文啓住職からその経営哲学をご教示して頂き、その後座禅体験を行いました。参加したメンバーは柴田文啓住職よりたくさん事を学ぶことができたと思います。そして限られた予算の中で快く講師を引き受けて下さった柴田住職には感謝の気持ちでいっぱいです。今例会では六波羅密等、JC活動にも通じる考えを教えて頂きました。卒業生はもちろんですが、次年度以降も残るメンバーはこの例会で学んだことを仕事やJC活動に活かしてもらえれば幸いです。



11月例会

南長野フェスティバル2018〜愛×絆×点灯式

企画担当 ■ 地域創生委員会

11月23日(金) 南長野運動公園

十一月三日(金)に十一月例会「南長野フェスティバル2018〜愛×絆×点灯式」を実施いたしました。

当日は、天候に恵まれ初冬の清々しい気候の中、一般市民の方々に参加して頂き、二・五mのイルミネーションタワーに、みんなの思いを込めたオブジェの飾り付けを行いました。またトンネル等イルミネーションに飾り付けも行いました。

点灯式は、地元の小中学生や飾り付けに参加してくれたボランティアの方など多くの人に盛り上げて頂きました。また、カウントダウンのご発声でACC長野パルセイロの大橋様、遠藤選手、前田選手、ライオン君

に行き、ゼロという声とともにイルミネーションが一緒に点くと、大歓声が上がりました。ここから約一カ月のイルミネーション点灯が開始します。



委員長所感

青木 栄樹

本年度で二回目を迎える南長野フェスティバルの点灯式を開催いたしました。

オブジェの制作に参加頂いた、家族、恋人、友人の方々が笑顔で楽しそうに制作している姿を見てほっこりしました。

また点灯式には、多くの方々に参加頂き大変うれしく思います。カウントダウンでは、パルセイロの方や会場の皆様と一緒に、点灯の瞬間の大歓声が沸き上がった時には、今までの苦労、疲れなどが消えていき、また無事イルミネーションが点灯したことにホッとしました。

当日は段取り不足もあり、多々ご迷惑をお掛け致しましたが、委員メンバーをはじめとした全メンバーのご協力のもと無事本事業を開催する事ができました。改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

12月例会

12月7日(金)

JAGグリーン長野
グリーンパレス

第57期生卒業式

企画担当 ■ 国際交流委員会

十二月七日(金)にJAGグリーン長野グリーンパレスにて十二月例会「第57期生卒業式」を行いました。

本年は二名ものメンバーが卒業を迎えました。

二名の卒業生の皆様には、入会歴に差はあれども、地域のために様々なJC活動を通じて互いに奮闘してこられました。

卒業式は例年通り卒業生のセレモニーから始まり、今までのJC活動を映像で振り返っていただくとともに、スピーチでは後輩とな

るメンバーに、南長野青年会議所で培った経験の思いのかぎりをお話していただきました。

残るメンバーにはその思いを胸に刻み、今後のJC活動に生かしてもらいたいと思います。

第五十七期卒業生の皆様は、小林俊介君、下條誠君、一之瀬由照君、北村稔君、平林博君、山岸陸弘君、荒井聡君、佐藤寛君、小林敏明君、片桐孝章君、丸山正紀君、小山和伯君、以上二名になりました。



第57期生メンバー
ご卒業おめでとうございます。

※卒業生の荒井 聡君、小林敏明君は、諸事情のため欠席。

委員長所感

渡辺 利寛

例会当日は、当日のリハーサル不足や記念品の説明不足、例年になく卒業生が多く、卒業スピーチの時間を十分に取れなかったことは大変申し訳なく思っています。色々と反省するところが残りありますが、まずは卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。

卒業生の皆様とは、入会歴に関わらずJCの思い出が沢山できました。京都会議や訪韓の思い出、また様々な懇親会の場で一緒にお酒を飲んで語り合ったこと、時には叱られ、時には優しくアドバイスを頂いたりしました。振り返れば僕自身決して入会歴が長いわけではありませんが沢山の思い出がこみ上げてきます。皆様の卒業式をこうして担当できたことに感謝申し上げます。

そして、国際交流委員会メンバーには一年間という短い間ではありましたが、最後まで支えていただきありがとうございました。最後になりましたが、二名の卒業生の皆様ご卒業、本当におめでとうございました。



